

<p>第一課 一〇月一日 黎明の子、明けの明星よ、あなたは天から落ちてしまった。もろもろの国を倒した者よ、あなたは切られて地に倒れてしまった。 イザヤ 一四ノ一二 口語訳</p>	<p>第八課 一月一九日 そのあかしとは、神が永遠のいのちをわたしたちに賜わり、かつ、そのいのちが御子のうちにあることである。御子を持つ者はいのちを持ち、神の御子を持たない者はいのちを持っていない。 Iヨハネ 五ノ一一、一二 口語訳</p>
<p>第二課 一〇月八日 このようなわけで、ひとりの人によって、罪がこの世にはいり、また罪によって死がはいつてきたように、こうして、すべての人が罪を犯したので、死が全人類にはいり込んだのである。 ローマ 五ノ一二 口語訳</p>	<p>第九課 一月二六日 あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると、思っているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。 ヨハネ 五ノ三九 口語訳</p>
<p>第三課 一〇月十五日 主なる神は土のちりて人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。 創世記 二ノ七 口語訳</p>	<p>第一〇課 一二月三日 すべてのものを識別して、良いものを守り(なさい)。 Iテサロニケ 五ノ二一 口語訳</p>
<p>第四課 一〇月二二日 信仰によって、アブラハムは、試練を受けたとき、イサクをささげた。すなわち、約束を受けていた彼が、そのひとり子をささげたのである。……彼は、神が死人の中から人をよみがえらせる力がある、と信じていたのである。だから彼は、いわば、イサクを生かかえて渡されたわけである。 ヘブル 一一ノ一七、一九 口語訳</p>	<p>第一課 二月一〇日 しかし、驚くには及ばない。サタンも光の天使に擬装するのだから。だから、たといサタンの手下どもが、義の奉仕者のように擬装したとしても、不思議ではない。彼らの最期は、そのしわざに合ったものとなる。 IIコリント 一一ノ一四、一五 口語訳</p>
<p>第五課 一〇月二九日 イエスは彼女に言われた「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか」。 ヨハネ 一一ノ二五、二六 口語訳</p>	<p>第二課 二月一七日 どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全きよめて下さるように。また、あなたがたの霊と心とからだを完全に守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのない者にして下さるよう。 Iテサロニケ 五ノ二三 口語訳</p>
<p>第六課 一月五日 そして、ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。それは彼を信じる者が、すべて永遠の命を得るためである。 ヨハネ 三ノ一四、一五 口語訳</p>	<p>第三課 二月二四日 なぜなら、わたしたちは皆、キリストのさばきの座の前にあらわれ、善であれ悪であれ、自分の行ったことに応じて、それぞれ報いを受けねばならないからである。 IIコリント 五ノ一〇 口語訳</p>
<p>第七課 一月二二日 わたしは彼を見たとき、その足もとに倒れて死人のようになった。すると、彼は右手をわたしの上において言った、「恐れるな。わたしは初めであり、終りであり、また、生きている者である。わたしは死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。そして、死と黄泉(よみ)とのかぎを持っている」。 黙示録 一ノ一七、一八 口語訳</p>	<p>第四課 二月三十一日 すると、御座にいますかたが言われた、「見よ、わたしはすべてのものを新たにする」。また言われた、「書きしるせ。これらの言葉は、信ずべきであり、まことである」。黙示録 二ノ一五 口語訳</p>